

学問への志を持つ全ての人へ



日本の、そして世界の
学術・研究の最先端を
牽引する。

同志社の創立者・新島襄。幕末の1864(元治元)年、激動する日本の将来を憂い、国禁を犯して脱国し、約10年間にわたってアメリカ、ヨーロッパで学び、キリスト教の洗礼を受けて帰国しました。

そして、国内外の多くの人々の協力を得て、1875(明治8)年11月29日、京都の地に同志社大学のルーツとなる同志社英学校を設立しました。新島は、学問の探求とともにキリスト教を徳育の基本として人格を陶冶する教育機関を目指し、同志社においてキリスト教主義に基づき、自治自立の精神を涵養し、国際感覚豊かな人物を育成することを教育の理念としました。

同志社の教育理念

キリスト教主義

精神と品行を陶冶する
活力を身につけ、
知識の修得だけでなく、
良心の涵養を促す

自由主義

自ら行動する力を育み、
一人ひとりに
自分の可能性を
気づかせる

国際主義

外国語を話せるだけでなく、
異なる価値観を受け入れ、
そこから「何か」を
見出せる人を育む



02 研究科一覧

04 在学生インタビュー

06 神学研究科

08 文学研究科

12 社会学研究科

15 法学研究科

19 経済学研究科

22 商学研究科

25 総合政策科学研究科

29 文化情報学研究科

31 理工学研究科

37 生命医科学研究科

40 スポーツ健康科学研究科

43 心理学研究科

45 グローバル・スタディーズ研究科

48 脳科学研究科

50 司法研究科
(法科大学院)

53 ビジネス研究科
(ビジネススクール)

56 留学・国際交流

58 図書館/ICT

59 研究

63 学位の授与/教育職員免許状

64 進路・就職

66 奨学金

67 学費

69 出願の流れ

70 今出川校地・京田辺校地

71 アクセス

Message from president

宜しく晩成を期して
大工事をせられよ

学長 植木 朝子



同志社の創立者・新島襄は、かつて一学生を諭して言いました。

「かの木曾山中の大木を見よ。それは数百年間成長した後に伐られ、而して伐られたる後また蓄へられ、蓄へられたる後また世の需用に応じ、かくして始めて棟梁の材となるではないか。凡そ学を為すものも亦、宜しく斯くの如くあらねばならぬ。貴君願くば、決して小刀細工を為す勿れ。宜しく晩成を期して大工事をせられよ」(『片鱗集』)と。

学問の道は一朝一夕に成るものではありません。目先の成果を追って小さな細工をするのではなく、広い視野を持ち、時間をかけて大工事をしなければならぬという新島の言葉は、どのような領域においても通用するものでしょう。

大学院で学ぶ皆さんには、そのように、じっくりと腰を据えて研究に邁進していただきたいと思います。そして、その研究が、やがて「世の需用に応じて」「棟梁の材となる」よう、すなわち、いつかは世の中の役に立つように、常に意識してほしいと思います。役に立つというのは、もちろん経済的利益を生むといった実利的なことだけを言うわけではありません。精神的充実を含めた人々の幸福に寄与するということです。

同志社大学大学院のバラエティに富んだ研究科において、お一人お一人が豊かな学問的達成を遂げられますことを心から願っています。



研究科一覽

細分化する学術研究に対応し、高度な専門知識を修得するため、最先端の研究が可能な設備・環境を有する16研究科。同志社大学院は「真理の探究」を教養の根底に持つ専門的知識人・職業人の育成を通じて、文化・産業の発展に寄与していきます。

研究科	校 地	課程別専攻名	
		博士課程(前期課程)または修士課程	博士課程(後期課程)
神学研究科	今出川	●神学専攻	●神学専攻
文学研究科	今出川	●哲学専攻 ●英文学・英語学専攻 ●文化史学専攻 ●国文学専攻 ●美学芸術学専攻	●哲学専攻 ●英文学・英語学専攻 ●文化史学専攻 ●国文学専攻 ●美学芸術学専攻
社会学研究科	今出川	●社会福祉学専攻 ●メディア学専攻 ●教育文化学専攻 ●社会学専攻 ●産業関係学専攻	●社会福祉学専攻 ●メディア学専攻 ●教育文化学専攻 ●社会学専攻 ●産業関係学専攻
法学研究科	今出川	●政治学専攻 ●私法学専攻 ●公法学専攻	●政治学専攻 ●私法学専攻 ●公法学専攻
経済学研究科	今出川	●理論経済学専攻 ●応用経済学専攻	●経済政策専攻
商学研究科	今出川	●商学専攻	●商学専攻
総合政策科学研究科	今出川	●総合政策科学専攻	●総合政策科学専攻
文化情報学研究科	京田辺	●文化情報学専攻	●文化情報学専攻
理工学研究科	京田辺	●情報工学専攻 ●電気電子工学専攻 ●機械工学専攻 ●応用化学専攻 ●数理環境科学専攻	●情報工学専攻 ●電気電子工学専攻 ●機械工学専攻 ●応用化学専攻 ●数理環境科学専攻
生命医科学研究科	京田辺	●医工学・医情報学専攻 ●医生命システム専攻	●医工学・医情報学専攻 ●医生命システム専攻
スポーツ健康科学研究科	京田辺	●スポーツ健康科学専攻	●スポーツ健康科学専攻
心理学研究科	京田辺	●心理学専攻	●心理学専攻
グローバル・スタディーズ研究科	今出川	●グローバル・スタディーズ専攻	●グローバル・スタディーズ専攻
脳科学研究科	京田辺	●【一貫制博士課程】発達加齢脳専攻	
司法研究科(法科大学院)	今出川	●《専門職学位課程》法務専攻	
ビジネス研究科(ビジネススクール)	今出川	●《専門職学位課程》ビジネス専攻 ●《修士課程》グローバル経営研究専攻	

他研究科・専攻科目の履修促進について

同志社大学の大学院研究科で学ぶ皆さんには、多様で柔軟な思考・発想を持つ人物、自身とは異なる価値観や文化背景を有する環境の中でもタフに活躍できる人物として、社会から大きな期待が寄せられています。専攻する学問領域の知識に加え、隣接領域

	授与学位			掲載ページ
	修士	博士	専門職	
	●神学 ●一神教研究	●神学 ●一神教研究		P.06
	●哲学 ●英文学 ●英語学 ●文化史学 ●国文学 ●美学 ●芸術学	●哲学 ●英文学 ●英語学 ●文化史学 ●国文学 ●芸術学		P.08
	●社会福祉学 ●メディア学 ●教育文化学 ●社会学 ●産業関係学	●社会福祉学 ●メディア学 ●教育文化学 ●社会学 ●産業関係学		P.12
	●政治学 ●比較政治学 ●法学	●政治学 ●法学		P.15
	●経済学	●経済学		P.19
	●商学	●商学		P.22
	●政策科学 ●ソーシャル・イノベーション	●政策科学 ●ソーシャル・イノベーション		P.25
	●文化情報学	●文化情報学		P.29
	●工学 ●理学	●工学 ●理学		P.31
	●工学 ●理学	●工学 ●理学		P.37
	●スポーツ健康科学	●スポーツ健康科学		P.40
	●心理学	●心理学		P.43
	●アメリカ研究 ●現代アジア研究 ●グローバル社会研究	●アメリカ研究 ●現代アジア研究 ●グローバル社会研究		P.45
		●理学		P.48
			●法務博士	P.50
	●経営学		●ビジネス修士	P.53

や異分野についても積極的に学修し、学問的知識を相対化、統合した上で活用する力が身に付けば、その能力は今後ますます複雑化、高度化する社会において大きな強みとなり、皆さんの活躍の場はきっと広がっていくことでしょう。そこで本学は2018年度から、大学院

生として必要な実践的な研究能力が身に付く科目や隣接領域の知識を教授する科目など、所属の研究科・専攻を超えて履修することを推奨する科目を、一覧にご案内しています。

https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/graduate_curriculum.html ▶





グローバル・スタディーズ研究科 現代アジア研究コース
博士課程(前期課程)2年次生

やまうち あや の
山内 綾乃

アジアで最も若い国、
東ティモールのこれからを
言語政策を通して考える

北京で出会った留学生に刺激され、大学院へ。

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部時代に中国・北京大学に留学したとき、そこで出会った世界各国の学生たちの「大学卒業後も勉強を続ける」という言葉に刺激され、大学院に進みました。所属する研究室では、世界銀行にお勤めだった指導教授のもとで発展途上国への開発援助などについて研究しています。修士論文は東ティモールの言語政策に関するもので、私自身が言語に関心があり、先行研究が少ないことにも引かれてこのテーマを選びました。

4つの言語を持つ国が抱える問題点を探る。

東ティモールは2002年にインドネシアから分離・独立した国です。それまで主にインドネシア語と現地語のテトゥン語が使われていたところに、かつての宗主国の言語であるポルトガル語による教育が始まり、さらに英語も公の場で使用されるようになりました。そのため教育現場の混乱を招いたり、世代間で使う言葉が異なることで国民同士のコミュニケーションに支障をきたしたりと、社会に多くの問題が生じています。東ティモールは発展途上の段階にあり、そういった問題は今後の国づくりの障害になりかねません。修士論文では、今後の言語政策を実際に考える立場にある東ティモール政府関係者の方や、20代から70代と幅広い年代の方へのインタビュー・アンケート調査を手掛かりに、分離・独立後の言語政策が抱える課題についての考察を様々な観点から深めていきました。

可能性に満ちた国の発展に役立ちたい。

大学院修了後は民間企業に就職するため、研究はひとまず終わりになりますが、東ティモールにはこれから先もずっと関心があると思うので、例えば私の論文が引用され、東ティモールの言語政策や開発に関する研究がさらに進めばうれしいです。そしていつか機会があれば、政府関係者の方など研究の中で知り合った人たちとタッグを組み、可能性に満ちた若い国、東ティモールの発展に何らかの形で貢献できればと考えています。



理系と文系の両方に興味があった自分にぴったり。

同志社大学文化情報学部在籍、当初は卒業後に就職を志望していました。3年次生のときに新型コロナウイルス感染症の流行が始まり授業がオンライン中心となり、もちろん授業の内容は充実していましたが、自分としてはもっと実験に取り組みたいという気持ちがあって大学院に進学しました。引き続き文化情報学を学ぼうと決めたのは、理系はもとよりマンガをはじめとする文系に興味があり、文化に関する幅広いことから数理的なアプローチによって調査・分析できる研究科の特徴が自分に合っていると思ったからです。

デフォルメされたキャラクターの使用効果を調べる。

現在は、テキスト内のキャラクターの効果的な使い方に関する研究の準備を進めているところです。教科書、各種説明書、プレゼンシートなど様々なテキストにデフォルメされたキャラクターのイラストが挿入されているのを見掛けます。そこには情報をより分かりやすく、より印象的に伝えたいという作り手の意図が込められているはずです。研究ではそれが受け手に伝わっているか、もしかして趣旨に合わないイラストを用いることで逆効果になっていないか、といったことについて多くの被験者を対象に統計的に調べるつもりです。

正確な情報伝達により「炎上」を未然に防ぐ。

この研究の目標は、正確かつ効果的な情報伝達の在り方を考察することであり、将来的にはその結果を広告やマーケティングの分野に生かすことができると考えています。最近、作り手の意図が受け手にうまく伝わらずに炎上してしまう広告が多々ありますが、例えばテキストの内容を適切に補うキャラクターを起用すれば、双方のコミュニケーションが円滑になり、炎上を未然に防ぐことができるかもしれません。まだ研究は始まったばかりですが、ぜひそんな事例を幾つも紹介できるような研究にしていきたいと思っています。



作り手の意図をしつかり伝え、
円滑なコミュニケーションを
支えるために

文化情報学研究科 行動データ科学コース
博士課程(前期課程)1年次生
いちみや

一宮ほのか